

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 NPO 法人 ABC ジャパン

1. 事業名称

行政・学校と連携した外国籍保護者向けの日本語学習機会の創出および地域交流

2. 事業の目的

- ・定住化の進む南米出身者を中心とする外国籍保護者が、日本語学習や地域交流を通じて、日本での子育てに対する不安を軽減し、子どもの教育に積極的に関わられるようにする。
- ・移民第2世代の進路選択をサポートするために、保護者に対する情報及び意識啓発を行う。
- ・地域社会の各種行事に外国人住民が参加・実施することで、地域生活を充実させる。

3. 事業内容の概要

- ①学校や区役所、自治会などに呼びかけた「外国籍保護者の日本語学習および地域参加に関する検討会議」の開催。
- ②学校で配布される書類や行政から配布される文書等で汎用される語彙や表現を学ぶほか、学校や区役所でのやり取りをスムーズに行えるようなコミュニケーション能力の向上を目指す外国籍保護者向けの日本語教室の開催。
- ③学校、自治会等と連携したオリエンテーションの実施
- ④外国籍保護者向け多言語資料の作成

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年9月12日 09:00-11:00	2時間	NPO 法人 ABC ジャパン事務所	カルロス篠田 富本潤子 橋本秀吉 渡辺裕美子 秋間恵美子 横江美智子	平成25年度生活者としての外国人のための日本語事業プログラムBで行う今後のオリエンテーションの検討	在日外国人親子間に十分なコミュニケーションが交わされていないケースが多く、子どもの進学、在留資格、健康面の意識に対して正確に把握しているか不安があるという声があがった。12月の世界エイズデーにHIVに関するオリエンテーション、1月に在留カードに関するオリエンテーション、11月に大学進学オリエンテーションを行うことが決定した
2	平成24年10月21日 16:00-18:00	2時間	NPO 法人 ABC ジャパン事務所	カルロス篠田 アレシャンドレ比嘉 橋本秀吉 天野鉄人 下村昌男 藪谷 篤 安富祖美智江	鶴見区在日外国人状況報告会、取組②のカリキュラム検討	出稼ぎで来日した第一世代が高齢者となる現在、中高生で来日した世代が在日外国人保護者になっている。ダブルリミテッドの親をもち、親子のコミュニケーションが十分に取れない子どもが増えることが懸念される。家庭で子どもの状況を理解できるよう、取組2の保護者向け日本語教室では、より具体的なカリキュラムを組むことが必要だ。

3	平成 25 年 2 月 8 日 16:00-18:00	2 時 間	NPO 法人 ABC ジャ パン事務 所	秋間恵美子 工藤文子 横江美智子 渡辺裕美子 安富祖美智江 富本潤子	日本語能力試験 の日伯有効性に ついて検討	ブラジル経済に関するセミナーなどを通し、ブラジル での日本語能力試験の有効性をみることができました。そ のため、日本国内での生活でなくブラジル帰国後でも 有効な、日本語能力証明として JLPT 受験を促進するこ とを決定した。
4	平成 25 年 3 月 8 日 17:00-19:00	2 時 間	NPO 法人 ABC ジャ パン事務 所	橋本秀吉 秋間恵美子 篠田カルロス 安富祖美智江 富本潤子 横江美智子	日本語教室の卒 業式および今年 度の反省会につ いて	日本語教室の卒業式および、今年度文化庁日本語教育 事業を通して改善すべく点など反省会の準備。

【写真】

運営委員会



5. 取組についての報告

○取組1:横浜市鶴見区における『外国籍保護者の日本語学習および地域参加に関する検討会議』開催

(1) 体制整備に向けた取組の目標

地域の日本語教育体制、情報共有・伝達、交流活動の充実を目指す。

(2) 取組内容

- ・横浜市鶴見区における『外国籍保護者の日本語学習および地域参加に関する検討会議』開催
- ・地域内での日本語教育体制、情報共有・伝達、交流活動の充実を目指した関係機関の連携協力を推進する検討体制の整備

(3) 対象者

鶴見区役所関連部署、区内小中学校(主に国際教室設置校)、自治会、鶴見国際交流ラウンジ等

(4) 参加者の募集方法

電子メールや電話などの通信手段、地域南米コミュニティのロコミなど

(5) 参加者の総数 10 人

(出身・国籍別内訳 ブラジル2人、ボリビア1人、ペルー1人、日本6人)

(6) 開催時間数(回数) 2 時間 (全 4 回)

(7) 取組の具体的内容

回	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
①	平成24年8月2日10～12時	2時間	8人	ブラジル(2人)、ボリビア(1人)、ペルー(1人)、日本(4人)	鶴見川クリーンキャンペーン	鶴見区の中心を流れている鶴見川に関われる交流イベントを検討
②	平成24年11月18日14～16時	2時間	10人	ブラジル(2人)、ボリビア(1人)、ペルー(1人)、日本(6人)	つるみカフェ	鶴見区住民で鶴見区の活性化を話し合う
③	平成25年1月28日10～12時	2時間	8人	ブラジル(2人)、ボリビア(1人)、ペルー(1人)、日本(4人)	出稼ぎ世代の今後	出稼ぎ第一世代の高齢化・帰国について
④	平成25年3月15日10～12時	2時間	10人	ブラジル(2人)、ボリビア(1人)、ペルー(1人)、日本(6人)	2012年度の総括	今年度の振り返り、来年度について

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

様々な形で鶴見区に関わる人々と情報交換を行い、多角的に地域状況を把握し、これからの鶴見区における多文化共生および地域活性化を図る。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

鶴見区、町内会、商店街連合などが地域の将来について話し合う会議「つるみ・まち cafe」に外国籍住民として初めて招かれた。また、町内会や区役所から事前に鶴見川清掃イベントや無料健康相談の情報を提供してもらい、より広く鶴見区在住の外国人定住者を地域イベントにつなげることができた。

(10) 改善点について

地域活性化会議に初の外国籍住民として参加したが、地域内で多文化共生、子育て支援、教育になど様々な面で具体的な会議を開催するためには、さらに多くの外国籍住民の意見をまとめる必要がある。

○取組2:外国籍保護者を対象とした日本語教室の開催

(1) 体制整備に向けた取組の目標

学校で配布される書類や行政から配布される文書等で汎用される語彙や表現を学ぶほか、学校や区役所でのやりとりをスムーズに行えるようなコミュニケーション能力の向上を目指す。

(2) 取組内容

主に南米出身の外国籍保護者を対象とした日本語教室を開催し、学校からの連絡文や行政文書に頻出する語彙や表現を学習し、学校や区役所での手続きがスムーズに行えるようになる講座を開催する。また、学校教員や行政窓口で、必要な情報を得て、手続きを進められるために必要なコミュニケーション能力をのばせるように、ロールプレイなどを取り入れた実践的な講座を開催する。

(3) 対象者

主に横浜市鶴見区在住の南米出身者(ブラジル、ペルー、ボリビア、アルゼンチン、パラグアイ、コロンビアなど)

(4) 参加者の募集方法

チラシ、地域にある南米関連店でのポスターの掲示、SNS(orkut, facebook など)、当団体のホームページ、連携を取っている小学校教員からの告知、地域の南米コミュニティの口コミなど

(5) 参加者の総数 27 人

(出身・国籍別内訳 ブラジル 21 人、ボリビア 1 人、アルゼンチン 1 人、インド 3 人、中国 1 人、コロンビア 1 人)

(6) 開催時間数(回数) 99 時間 (全 33 回)

(7) 取組の具体的内容

回	開催日	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成 24 年 8 月 25 日 10 ~12 時	3 時間	0 人		カリキュラム作成	講師とアシスタント全員が集まり、各授業のテーマについて話し合う。

2	平成 24 年 9 月 1 日 10～13 時	3 時間	22 人	ブラジル(15 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、コロンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	自己紹介、面接、アンケート	簡単な自己紹介を教える。講師とアシスタントたちがみせる(ゆっくり話す)。生徒の名前札を作成し実践する。アンケート記入後、面接で各生徒の会話力と今後授業で取り上げてほしいテーマについて少し話し合う。
3	平成 24 年 9 月 8 日 10～13 時	3 時間	25 人	ブラジル(18 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、コロンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	自己紹介、レストラン、洗濯機のリモコン	講師とアシスタントがお互い自己紹介をしてみせる。生徒同士で実践する。レストランのメニューを準備する。単語(禁煙席、喫煙席等)を取り入れ簡単な会話を三つほど作成する。いくつかのメーカーのリモコンをプリントし準備しておく。生徒には前もってご自分の洗濯機のリモコンの写真を持ってくるよう伝えておく。
4	平成 24 年 9 月 15 日 10～13 時	3 時間	20 人	ブラジル(15 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、インド(2 人)、中国(1 人)	家庭で使う語彙	単語表「居間、テーブル、電気等」を漢字(ふりがな付き)、カタカナとひらがなで作成する。一つ一つ読み上げながら確認する。生徒の要望にも時間の許す限り答える。
5	平成 24 年 9 月 22 日 10～13 時	3 時間	22 人	ブラジル(15 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、コロンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	運動会	学校からの運動会のお知らせを元に文章と単語「正門、リレー、～走等」を学習する。
6	平成 24 年 9 月 29 日 10～13 時	3 時間	23 人	ブラジル(16 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、コロンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	進学について、はじめて日本に来た時の話	日本の学校の仕組みについて説明(高校入試について)。外国人アシスタントが優しい日本語で話して聞かせて、各生徒 5 分ほど話す。
7	平成 24 年 10 月 6 日 10～13 時	3 時間	15 人	ブラジル(10 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、コロンビア(1 人)、インド(1 人)、中国(1 人)	鶴見川清掃	単語表「缶、びん、燃えるごみ等」を作成する。簡単な会話「トレイは燃えるごみですか。」「はい、そうです。」「いいえ、違います。」のロールプレイを取り入れる。鶴見川掃除で実践する。
8	平成 24 年 10 月 6 日	3 時間	34 人	ブラジル(19) ボリビア(1) アルゼンチン(1) インド(3) 不明(10)	高校進学ガイダンス	高校受験を控える学生と保護者への進学に関係する用語、学校制度を学ぶ。
9	平成 24 年 10 月 7 日 10～13 時	3 時間	8 人	ブラジル(8 人)	日本語によるブラジル経済学セミナー	日本とブラジルのビジネス、経済等について包括的に学ぶ。

10	平成 24 年 10 月 13 日 10～13 時	3 時 間	23 人	ブラジル(16 人)、ボ リビア(1 人)、アルゼ ンチン(1 人)、コロ ンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	電車	単語表「往復、片道、改札等」を作成する。 「鶴見駅から横浜駅までいくらですか。」簡 単な会話のロールプレイを取り入れ、近くの 駅まで行き実践する。
11	平成 24 年 10 月 20 日 10～13 時	3 時 間	22 人	ブラジル(15 人)、ボ リビア(1 人)、アルゼ ンチン(1 人)、コロ ンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	明治維新以後の日 本史	よく使われる単語表を作成する。日本の歴史 についてやさしい日本語で授業を行う。まだ 日本語で理解できない生徒には通訳する。
12	平成 24 年 10 月 27 日 10～13 時	3 時 間	25 人	ブラジル(19 人)、ボ リビア(1 人)、アルゼ ンチン(1 人)、インド (3 人)、中国(1 人)	鶴見歴史セミナー への参加	単語表「鶴見空襲、関東大震災等」を作成す る。まだ日本語で理解できない生徒には通訳 する。
13	平成 24 年 10 月 27 日 14～16 時	3 時 間	9 人	ブラジル(6 人)、ボリ ビア(1 人)、アルゼン チン(1 人)、中国(1 人)	外国につながる子 への日本語教育法	外国につながる子どもへのわかりやすく効 果的な教え方、楽しい学習方法などについて 学ぶ。
14	平成 24 年 11 月 3 日 10 ～13 時	3 時 間	25 人	ブラジル(18 人)、ボ リビア(1 人)、アルゼ ンチン(1 人)、コロ ンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	病院	体の部位の単語表を作成する。「～がいたい です。」「～がかゆいです。」簡単な文章で ロールプレイを取り入れる。
15	平成 24 年 11 月 10 日 10～13 時	3 時 間	24 人	ブラジル(18 人)、ボ リビア(1 人)、コロ ンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	就職	単語表「就職活動、転職、資格等」を作成す る。履歴書の書き方を教える。
16	平成 24 年 11 月 17 日 10～13 時	3 時 間	26 人	ブラジル(20 人)、ボ リビア(1 人)、アルゼ ンチン(1 人)、コロ ンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	大学進学	単語表「センター試験、国立大学、私立大学 等」を作成する。まだ日本語で理解できない 生徒には通訳する。
17	平成 24 年 11 月 24 日 10～13 時	3 時 間	22 人	ブラジル(15 人)、ボ リビア(1 人)、アルゼ ンチン(1 人)、コロ ンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	銀行	銀行の A T M のプリントを準備する。銀行ま で足を運び実践する。
18	平成 24 年 12 月 1 日 10 ～13 時	3 時 間	22 人	ブラジル(15 人)、ボ リビア(1 人)、アルゼ ンチン(1 人)、コロ ンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	薬局	単語表「便秘、乾燥肌、塗り薬、洗剤等」を 漢字で作成し、教室で読み仮名を書きながら 練習する。

19	平成 24 年 12 月 8 日 10 ～13 時	3 時 間	23 人	ブラジル(16 人)、ボ リビア(1 人)、アルゼ ンチン(1 人)、コロン ビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	移住学習	JICA の移民博物館を見学し、日系移民の歴 史を学ぶ。
20	平成 24 年 12 月 9 日 10 ～13 時	3 時 間	22 人	ブラジル (1 8) ボ リビア (1) アルゼ ンチン (1)	日本とブラジル間 ビジネス	日本とブラジルにおけるビジネスに関する 用語学習。その後 セミナーへの参加
21	平成 24 年 12 月 15 日 10～13 時	3 時 間	21 人	ブラジル(15 人)、ア ルゼンチン(1 人)、コ ロンビア(1 人)、イン ド(3 人)、中国(1 人)	お正月の習慣(住所 記入の練習)	生徒の住所プリントを作成する。名前も含め て書き方を教える。
22	平成 24 年 12 月 22 日 10～13 時	3 時 間	20 人	ブラジル(14 人)、ア ルゼンチン(1 人)、コ ロンビア(1 人)、イン ド(3 人)、中国(1 人)	年末年始の挨拶、年 賀状	だれに年賀状を送るか前もって生徒に確認 しておく。年賀状の見本を準備する。日本の お正月の食文化「おせち料理」について説明 する。
23	平成 25 年 1 月 12 日 10 ～13 時	3 時 間	8 人	ブラジル(3 人)、ボリ ビア(1 人)、コロンビ ア(2 人)、インド(1 人)、中国(1 人)	今年の抱負、生け花	日本文化としての生け花、生け花の道具・方 法についての説明を受け、実際に花を生けて みる。
24	平成 25 年 1 月 19 日 10 ～13 時	3 時 間	22 人	ブラジル(15 人)、ボ リビア(1 人)、アルゼ ンチン(1 人)、コロン ビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	成人式、擬態語	日本の一年を通しての行事、成人式について 説明する。擬態語の単語表を作成する。生徒 に簡単な文作りをさせる。
25	平成 25 年 1 月 20 日 10 ～13 時	3 時 間	23 人	ブラジル(16 人)、ボ リビア(1 人)、アルゼ ンチン(1 人)、コロン ビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	在留カード説明会 への参加	新しい在留管理制度、在留カードの申請方法 などについての説明を受け、個別相談会に参 加。
26	平成 25 年 1 月 26 日 10 ～13 時	3 時 間	22 人	ブラジル(15 人)、ボ リビア(1 人)、アルゼ ンチン(1 人)、コロン ビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	健康診断、相談会の 説明、ニュース	毎年鶴見区役所で行われる健康診断と相談 会の説明をする。その月に上げられたニ ュースをいくつか準備する。ニュースを易し く説明し、レベル別にそのテーマについて話 し合う。
27	平成 25 年 2 月 2 日 10～ 13 時	3 時 間	22 人	ブラジル(15 人)、ボ リビア(1 人)、アルゼ ンチン(1 人)、コロン ビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	求人、節分	職業安定所でデータ入力の仕方を教える。日 本の文化について説明する。

28	平成 25 年 2 月 9 日 10～13 時	3 時間	22 人	ブラジル(15 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、コロンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	日本料理、調理器具	単語表「お玉、鍋、包丁等」を作成する。調理器具を準備しどら焼きを作る。
29	平成 25 年 2 月 16 日 10～13 時	3 時間	23 人	ブラジル(16 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、コロンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	JLPT 模擬試験	日本語学習へのモチベーション向上のため試験を実施する。
30	平成 25 年 2 月 23 日 10～13 時	3 時間	22 人	ブラジル(15 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、コロンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	JLPT、ひな祭り、ニュース	ひな祭りについて易しい日本語でテキストを作成する。その月に取り上げられたニュースをいくつか準備する。ニュースを易しく説明し、レベル別にそのテーマについて話し合う。
31	平成 25 年 3 月 2 日 10～13 時	3 時間	20 人	ブラジル(15 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、コロンビア(1 人)、インド(1 人)、中国(1 人)	電話対応	丁寧語、尊敬語、謙譲語、改まった言葉づかいの単語表を作成する。三種類ほど簡単な会話を作成しアシスタントは会社の電話係役をし、生徒たちとロールプレイ。
32	平成 25 年 3 月 9 日 10～13 時	3 時間	23 人	ブラジル(16 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、コロンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	歯医者、床屋での専門用語	専門用語の簡単な(生徒にも発言させプリントを完成させる)単語表を作成する。
33	平成 25 年 3 月 16 日 10～13 時	3 時間	23 人	ブラジル(16 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、コロンビア(1 人)、インド(3 人)、中国(1 人)	日本語教室の振り返り	講師、アシスタント全員と生徒たちで日本語教室について話し合う場。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

保護者を対象に、健康や教育、ニュースなど子どもの養育に必要な情報読解力を高める。地域教育機関や町内会との連携により事前に入手した情報を授業に取り込み、地域理解を深め、交流を促進する。具体的には大学進学ガイダンスなど取組3で行うオリエンテーション、区役所が行った無料健康相談会や、町内会で行われた鶴見川クリーンキャンペーンへの団体参加などである。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

毎回の授業をテーマ別完結型にすることで欠席しても出席意欲を損なうことのないカリキュラムを組み、行政書類や学校のお便りなどを学習しながらロールプレイを取り入れ、実用的な読解会話能力を学んだ。職場や日本文化に関する授業などから普段の生活が楽しくなったという声や、5人が JLPT を再び受験することを決めるなど、学習者の意識を鼓舞することができた。

(10) 改善点について

日本語講師が他の教室でも授業を行っており多忙だったため、他地域で行われている日本語教室講師との交流を一度しか行うことができなかった。

子どもの進学相談で訪ねてきたインドやフィリピン出身の保護者へ日本語教室の告知を行ったところ、大変興味を持ったが、受講者の多くが南米出身だからか積極的な参加は見られなかった。

○取組3: 学校および自治会と連携したオリエンテーションの実施

(1) 体制整備に向けた取組の目標

外国籍保護者の生活における意識啓発や地域社会への参加を促進

(2) 取組内容

子育て や子どもの教育、防災等に関する情報提供を行うオリエンテーションを企画

(3) 対象者

南米出身の外国籍保護者を主な対象に、他地域出身者や家族にも参加を呼び掛ける。

(4) 参加者の募集方法

チラシ、地域にある南米関連店でのポスターの掲示、SNS(orkut,facebook など)、当団体のホームページ、地域の南米コミュニティの口コミなど

(5) 参加者の総数 68 人

(出身・国籍別内訳 ブラジル 22 人、ボリビア 8 人、アルゼンチン 6 人、コロンビア 4 人、インド 4 人、中国 10 人、日本 14 人)

(6) 開催時間数(回数) 2 時間 (全 8 回)

(7) 取組の具体的内容

回	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成 24 年 10 月 6 日 13~15 時	2	34	ブラジル(12 人)、ボリビア(4 人)、アルゼンチン(2 人)、コロンビア(2 人)、インド(3 人)、中国(5 人)、日本(6 人)	高校進学オリエンテーション	外国につながる子どもと保護者を対象にした新しい高校入試システムについての講習と相談会。
2	平成 24 年 10 月 27 日 11~13 時	2	48	ブラジル(23 人)、ボリビア(2 人)、アルゼンチン(4 人)、インド(3 人)、中国(7 人)、日本(9 人)	鶴見の歴史でつながる多文化共生	鶴見歴史の会の方を講師に迎え、外国につながる子どもと大人を対象に地元の歴史を知り、見つめ直す機会とする。
3	平成 24 年 10 月 27 日 14~16 時	2	16	ブラジル(6 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、中国(1 人)、日本(7 人)	外国につながる子どもへの日本語教育法セミナー	外国につながる子どもへのわかりやすく効果的な教え方、楽しい学習方法などについて学ぶ。
4	平成 24 年 11 月 17 日 13~15 時	2	35	ブラジル(13 人)、ボリビア(4 人)、アルゼンチン(2 人)、コロンビア(2 人)、インド(3 人)、中国(5 人)、日本(6 人)	大学進学オリエンテーション	大学進学に向けた準備・勉強法 大学進学にかかる費用・奨学金の紹介 大学に進んだ外国につながる子たちの話
5	平成 24 年 12 月 1 日 13~15 時	2	18	ブラジル(9 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(1 人)、コロンビア(1 人)、日本(6 人)	ブラジルに学ぶ エイズ対策、性教育	ブラジルのエイズ教育について 当事者からの話 日本と世界のエイズ対策と現状
6	平成 24 年 12 月 9 日 11~13 時	2	22	ブラジル(18 人)、日本(4 人)	日本とブラジル間のビジネスについて	今後の日本とブラジル間のビジネス ブラジルの経済状況 ブラジルの法律、労働環境、教育について
7	平成 25 年 1 月 12 日 10~12 時	2	21	ブラジル(8 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(3 人)、コロンビア(2 人)、インド(3 人)、中国(2 人)、日本(2 人)	生け花教室	日本文化としての生け花について 生け花の道具・方法について 実際に花を生けてみる
8	平成 25 年 1 月 20 日 10~12 時	2	25	ブラジル(16 人)、ボリビア(1 人)、アルゼンチン(4 人)、コロンビア(2 人)、インド(2 人)	在留カード説明会	新しい在留管理制度について 在留カードの申請

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

地域に根ざした南米ネットワークによる現状把握能力を活用し、鶴見区の歴史セミナー、進学ガイダンス、在留カード説明会などを開催した。また、在日日系ブラジル人の AIDS 状況を調査しているブラジル人研究者を招き、日本語通訳とポルトガル語によるセミナーを開催し、保護者を含めた意識啓発を行った。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

学校からの連絡文や行政文書に頻出する語彙や表現を学習し、学校や区役所での手続きがスムーズに行えるよう実践を取り入れた講座を予定通り開催することができた。また、学校の教員と連携することで事前に学校行事などの情報を得て授業に組み込むことができた。年末年始などには日本文化行事も授業に組み、学習者が子どもと行事参加した体験談を授業で発表するなど保護者同士の情報交換の場ともなった。

(10) 改善点について

地域の小中学校と連携し、ブラジル国籍以外の保護者に参加を呼びかける。そのため、今後は多国籍の外国人が集まる場所に足をはこぶなどの計画をしている。

また、今までは「日本で安定した生活を送るため」として、日本人とのコミュニケーションについて取り上げてきた。しかし今後は、「日本で安定した生活を送るため」という理由のみではなく、「保護者と子どものコミュニケーションが、子どもの成長とともに困難になる」という事実を保護者に意識してもらうことで、日本語学習へのモチベーションの向上につなげたい。

○取組 4: 外国籍保護者に対する教育関連多言語資料の作成

(1) 体制整備に向けた取組の目標

外国につながる複数の高校生の支援・大学進学実績のある予備校の協力により外国につながる子どもおよび保護者向けの日本語原稿を作成し、スペイン語、ポルトガル語に翻訳する。また、大学進学を実現した南米出身の若者たちのインタビューなども行い、冊子に含める。

(2) 取組内容

- ・多言語版大学進学ガイドブックの作成、配布。
- ・(取組3)で実施する大学進学に関するオリエンテーションでの冊子の配布・活用。

(3) 対象者

南米つながりの生徒、その保護者および支援者

(4) 参加者の募集方法

連携をとっている地域小学校教員、地域南米コミュニティのロコミなど

(5) 参加者の総数 _____ 人

(出身・国籍別内訳)

※翻訳作業のため、教室のように具体的な参加者はいない。

(6) 開催時間数(回数) _____ 時間 (全 _____ 回)

※インターネットを通じ翻訳作業を行ったため、教室のように開催時間数が出せない。

(7) 取組の具体的内容

外国籍保護者向けに、子どもの学校生活や進学への理解を助けるために学校で毎年配布される年間行事に関するお便りや地域情報紙のスペイン語・ポルトガル語、そして「やさしい日本語」への翻訳。日本語教師、学校関係者、日系ブラジル人保護者など各方面経験者が対応。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

※インターネットを通じ、各自翻訳作業を行った。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

地域の小学校や町内会と連携をとることで、学校教育や地域行事などに関する情報を事前に入手し、より広い範囲での通知を可能にした。また、多言語化だけでなく、弘前大学人文学部社会言語学研究室の資料を参考にしながら「やさしい日本語」にすることで、取組 3 の日本語教室でも教材として利用でき、地域参加および日本語を学習する意欲を促進させることができた。

(10) 改善点について

学校からの手紙の「やさしい日本語」への翻訳が、予想以上に困難であった。地域柄、工場や生活で日本語を身につけている外国籍保護者が多く、日本語学習者向けに作成されている「やさしい日本語」マニュアルがそのまま活かすことができなかった。

また、大学進学体験の取材と配布を行う予定だったが、インタビュアーが多忙になってしまい、作成が遅れてしまったため、取組3で行ったオリエンテーションでの配布ができなかった。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

- ・定住化の進む南米出身者を中心とする外国籍保護者が、日本語学習や地域交流を通じて、日本での子育てに対する不安を軽減し、子どもの教育に積極的に関わられるようにする。
- ・移民第2世代の進路選択をサポートするために、保護者に対する情報及び意識啓発を行う。
- ・地域社会の各種行事に外国人住民が参加・実施することで、地域生活を充実させる。

(2) 事業目的の達成状況

地域生活にフォーカスを合わせた日本語教室と、専門家によるオリエンテーションを並行して行うことができた。主に教育関係など子供の将来に関するテーマが多く、小学校や地域行事への参加方法など事前に相談を受けた不安を事業に組み込むことで、外国人定住者の子どもの教育への積極的参加を促すことができた。

また、保護者と移民第3世代を含めた進学オリエンテーションでは実際に第2世代の学生と触れ合うことができ、進学に対して楽観視していた参加者たちにとって進学をより現実的に捉えることができた。

(3) 地域における事業の効果、成果

当団体では、ポルトガル語による情報提供や相談対応をしているため、日本語教室やオリエンテーションへの参加をきっかけに需要把握、相談解決をすることができた。また、進学に関するオリエンテーションから塾や他学校に通う移民第2世代の学生同士、区役所が行っている無料健康診断などにつなげることができた。

情報を多言語化するだけでなく、やさしい日本語にすることで日本語学習者が自力で情報を読み取る訓練を行った。それに加えて専門家によるオリエンテーションを通して進学、健康、日本文化など地域生活を多角的に考えるきっかけを与えることができ、特に保護者の地域における日本語での情報収集意欲を高めることができた。

(4) 改善点、今後の課題について

i 現状

京浜工場地帯の中心である鶴見区では、南米出身外国人の定住化が多く、フィリピンなど東南アジアからの来日者も近年増えている。保護者向け日本語教室には南米出身者が多く、地域と連携した就労進学など生活に関するオリエンテーションには東南アジア出身者の受講者も多い。そのため、通訳・翻訳もポルトガル、スペイン語だけでなくタガログ語、英語の需要が増えている。南米出身定住者の子どもも少なくないため、生活に必要な情報を提供するオリエンテーションでは多言語かつ多文化に対応することが必要である。

生活に関する情報提供も兼ねている事業に対し、受講生の熱意は高かったが、依然として仕事の都合でどうしても欠席しがちになってしまう受講生がいた。

ii 今後の課題

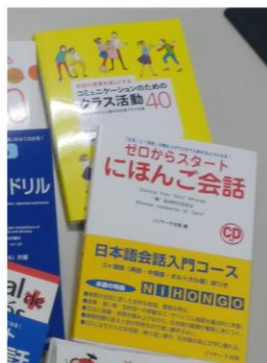
生活に密着した実用的な日本語の読解能力を高める授業を組んだ日本語教室(取組4)だが、日本語能力が初級の受講者には特に成果が見えにくく、学習意欲を維持することが困難であった。一方で、アシスタントの数が充実していた日本語教室では外国籍保護者が抱える子育てや生活の悩みを具体的に聞き出すことができた。そういった情報を他の日本語教室やネットワークと共有し、文字や漢字だけでなく、外国人生活者にどういった支援が必要か情報共有できることが求められている。

また、依然としてフィリピンなど東南アジアから来日するケースも増えていたり、外国籍の定住者の高齢化も進んでいたりする。そのため、子供の就学・進学に向け、手続きや仕事も両立しなくてはならぬ日本語を体系的に学ぶ機会が少ない。保護者が働きながらでも生活に必要な日本語を学べるように、需要を正確に把握しながら授業を臨機応変に組める体制整備が課題である。

iii 今後の活動予定

当団体では、今後も助成金などを得ながら、生活において情報提供や専門家によるオリエンテーションを通じ、地域における日本語教育の体制整備を行いたい。また、引き続き地域内及び地域間のブラジル・南米出身者のネットワークを強固なものにし、近年増えているフィリピンなど東南アジア出身のネットワークや地域教育機関とも連携をとりながら日本でのより安心・安定した生活の基盤づくりを進めていきたい。

(5) その他参考資料



教材



授業後の反省会



H P 講習会



授業後の反省会

